

# 解剖学 (Anatomy)

## 担当教員

|       |       |
|-------|-------|
| 准教授   | 中田 晋  |
| 助教    | 飯居 宏美 |
| 非常勤講師 | 宇田川 潤 |
| 非常勤講師 | 松田 和郎 |

| 科目群        | 開講期    | 授業形態 | 単位数   | 必修等 |
|------------|--------|------|-------|-----|
| 薬学専門教育（講義） | 1年次 前期 | 講義   | 1.5単位 | 必修  |

### 【概要】

ヒトの体は様々な細胞から組織、器官が構成されており、それらが協調して働くことで一身体として機能している。本講義では、生理機能と関連する人体の構造と、それらの機能が働かない場合に起こる異常を念頭において概説する。

この授業は対面授業と同時配信型授業で構成する。学生の皆さんには隔週で対面授業を7回、同時配信型授業を7回受講してもらう。

### 【授業の一般目標】

ヒトの体の構造及び機能の基本を理解し、そこから起こる一般的な異常や基本的な薬剤の作用部位について解剖学的に説明できることを目標にする。

[ 関連する卒業認定・学位授与方針 ] DP1・DP2

### 【準備学習(予習・復習)】

事前に解剖学の教科書を予習しておくこと。受講後は講義プリントを読み返すことや参考書などを用い知識を深めること。予習復習を合わせて、1週あたり150分程度の学修が必要である。

### 【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

| No | 学習項目                         | 担当教員 | 学生の到達目標   | SBOコード   |
|----|------------------------------|------|---|--|
| 1  | 解剖学とは何か<br>器官とその系統 / 組織とその分類 | 飯居   | 解剖学のあらましを理解する。各組織について理解し、組織を構成する細胞の種類について説明できる。 | C6-(1)- -1<br>C6-(1)- -1<br>C6-(1)- -1<br>C6-(3)- -1<br>C7-(1)- -1<br>C7-(1)- -2 |
| 2  | 骨格系                          | 中田晋  | 骨格とは何か、骨の機能について説明できる。                           | C7-(1)- -1<br>C7-(1)- -2   |
| 3  | 感覚器系（皮膚）                     | 中田晋  | 皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。                         | C7-(1)- -1   |
| 4  | 筋系                           | 中田晋  | 代表的な筋の名称と機能を列挙できる。                              | C7-(1)- -1<br>C7-(1)- -2   |
| 5  | 脈管系                          | 中田晋  | 循環器系の構造と機能を列挙できる。                               | C7-(1)- -1<br>C7-(1)- -2<br>C7-(1)- -3<br>C7-(1)- -1<br>C7-(2)- -1               |
| 6  | 消化器系                         | 中田晋  | 消化器系各部の構造と機能を列挙できる。                             | C7-(1)- -1<br>C7-(1)- -2   |
| 7  | 泌尿器系                         | 中田晋  | 泌尿器系各部の構造と機能を列挙できる。                             | C7-(1)- -1<br>C7-(2)- -1<br>C7-(2)- -2   |
| 8  | 生殖器系                         | 中田晋  | 生殖器系各部の構造と機能を列挙できる。                             | C7-(1)- -1<br>C7-(2)- -1   |
| 9  | 内分泌系                         | 飯居   | 内分泌の概念と代表的な器官について列挙できる。                         | C7-(1)- -1<br>C7-(2)- -1<br>C7-(2)- -1<br>C7-(2)- -1<br>C7-(2)- -1               |
| 10 | 呼吸器系                         | 宇田川  | 呼吸器系各部の構造と機能を列挙できる。                             | C7-(1)- -1   |
| 11 | 発生学                          | 宇田川  | 発生学と発生異常について列挙できる。                              | C6-(4)- -2<br>C7-(1)- -1<br>C7-(1)- -2   |

|    |        |     |                                    |  |
|----|--------|-----|------------------------------------|--|
|    |        |     |                                    | C7-(1)- -3<br>C7-(1)- -1<br>C7-(1)- -2 |
| 12 | 神経系1   | 松田和 | 神経系の構造と代表的な名称を列挙できる。               | C7-(1)- -1<br>C7-(1)- -2               |
| 13 | 神経系2   | 松田和 | 中枢神経・自律神経系の機能を理解し、代表的な疾患について説明できる。 | C7-(2)- -1<br>C7-(2)- -2<br>C7-(2)- -1 |
| 14 | 感覚器系   | 松田和 | 感覚器系各部の構造と機能を列挙できる。                | C7-(1)- -1                             |
| 15 | 総括・まとめ |     |                                    |  |

【実務経験】

中田 晋

業種:病院

| 学習項目No.       | その経験を生かして、どのような教育を行なうのか。  |
|---------------|---|
| 2,3,4,5,6,7,8 | 医師としての病院勤務臨床経験を生かし、臨床実地において薬学的に重要な解剖学的事項ならびに悪性腫瘍薬物療法学の発展に貢献する薬剤師を育成する教育を行う。 |

| (書名)        | (著者・編者)    | (発行所) |
|-------------|------------|-------|
| 教科書 入門人体解剖学 | 藤田 恒夫      | 南江堂   |
| 参考書 組織細胞生物学 | 内山 安男 (監訳) | 南江堂   |

【成績評価方法・基準】

定期試験の結果(100%)により評価する。

【評価のフィードバック】

講評は合格発表時に掲示する。